

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ほまれの家長後店
住 所	神奈川県藤沢市下土棚468-1湘南ヒルズ210号室
電話番号	090-7769-9150

事業所番号	1412202713
管理者名	和田 順子
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	6	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
130 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

18,861

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

4,429

人

利用者の1日の
平均労働時間数

4.2

時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（1月～12月）

前々々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

16,769,999

円

利用者に支払った賃金
総額

13,334,114

円

収支

3,435,885

円

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

12,808,753

円

利用者に支払った賃金
総額

15,461,941

円

収支

▲ 2,653,188

円

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

23,264,808

円

利用者に支払った賃金
総額

22,871,672

円

収支

393,136

円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨
に関する制度を定めている☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を
定めている☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を
定めている☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を
定めている☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている☐

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

☒◎外部研修、もしくは内部研修を
1回以上実施している。☒

※研修名 “プロの支援者” への第一歩

研修講師 三村 絵梨

実施日・受講者数 1月 21日 5人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において
1回以上発表している☒

※研修、学会等名 日本障がい者就労支援学会シンポジウム

実施日 11月 26日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ 一般就労先企業開拓・信頼関係構築の事例

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている☒

※先進的事業者名

実施日/ 参加者数 月 日 人

※他の事業所名 湘南地域就労援助センター

実施日/ 参加者数 5月 29日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上
参加している。☒

※商談会等名 生産活動についての情報交流会

主催者名 株式会社フォープラン

日時 2月 13日

内容 生産活動についての情報交流会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

☒

◎当該人事評価制度を周知している

☒

人事評価制度の制定日 R3年 2月 2日

人事評価制度の対象職員数 6名

うち昇給・昇格を行った者 0名

当該人事評価制度の周知方法 掲示

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

☐

◎当該ピアサポーターは「障害者7Aサポーター研修」

を受講している

☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証を受けている

☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、
経営改善計画書へ提出した。☐

※受理日 年 月 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ほまれの家長後店
住 所	神奈川県藤沢市下土棚468-1湘南ヒルズ210号室
電話番号	090-7769-9150

事業所番号	1412202713
管理者名	和田 順子
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容> ◆ 活動場所 株式会社メディケアー ◆ 実施日程 令和7年9月29日～ ◆ 実施した生産活動 地域企業の人材不足への対応として、株式会社メディケアーにて手介護福祉用具の消毒・整理等の業務を施設外就労として実施することで、企業内での障害者の働く場づくりへの取り組みを行う。 ◆ 利用者数 1名	<活動の様子> ◆ 活動の様子の写真・成果物の写真 【車いすの格納】  【マットレスの消毒作業】  【商品の移動】  【商品の分解作業】 
<目的> ◆ 地域連携活動のねらい 地域の実需と事業所の生産力を結びつけ、障がい者の就労機会の創出と社会参加の拡大 ◆ 地域にとってのメリット 人材不足が課題となっている地域の企業の業務の一部を利用者が担うことで、地域の課題解決、福祉と産業の接点拡大によって障がいへの理解促進などに繋がる。 ◆ 対象者にとってのメリット 実作業を通じて職業スキルと勤怠安定の促進	
<成果> ◆ 実施した結果 介護・福祉用具の消毒作業などを通して社会貢献につながった ◆ 得られた成果 通勤するリズムができれば、作業範囲も増やすことができている ◆ 課題点 疲労感などを感じているため、勤務に慣れていく	

連携先の企業等の意見または評価

◆ 連携した結果に対する意見または評価 受け入れでは、利用者1名が介護福祉用具の消毒・整理を安全に丁寧に行い、職場をきれいに保つことに役立ったと評価され、勤怠も安定しつつあり通勤のリズムが整ってきた点も良好である。 ◆ 今後の連携強化に向けた課題 単独時の安全と指示の明確化、作業後の体調チェックの習慣化や簡単なチェックリストの整備、そして定期的な振り返りで運用を整えることが課題である。			
連携先企業名	合同会社ReDef	担当者名	兼松

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ほまれの家長後店
住 所	神奈川県藤沢市下土棚468-1湘南ヒルズ210号室
電話番号	090-7769-9150

事業所番号	1412202713
管理者名	和田 順子
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所 ほまれの家長後店

実施日程 令和7年10月27日

参加利用者数 2名

本研修は、愛知県障害者職業センター柚木様実施の研修を受け、内容を十分に理解したサービス管理責任者が利用者を対象に開催した。

JST（職場での対人スキルトレーニング）の手順に沿って、職場で必要となる「謝り方」をテーマに研修を実施した。①職場でどうしても必要か／②自分はどの程度可能かを整理し、③自分の目標を決めたうえで、④実際の場面を想定した練習（ロールプレイ）を行った。

<目的>

- ・職場でのミス発生時に、報告→謝罪→対応確認を適切に行い、トラブルの拡大を防ぐ。
- ・相手の気持ちや考えを理解するヒントを得ながら、自分の気持ちや考えを職場の上司・同僚にうまく伝えられるようになる。

<成果>

【実施した成果】

- ・謝罪が求められる状況や背景を整理し、適切な謝罪の進め方を習得した。あわせて、モデル事例の確認やロールプレイの振り返りにより具体的な改善点を把握できた。

【今後の課題】

- ・実際の作業場面での般化（緊張時の声量・視線・タイミングを、日々のOJTと振り返りで継続して支援する。

<活動の様子>

- ・謝罪が必要な場面や理由を整理でき、謝る際の基本手順（すぐに謝る／姿勢・表情に注意／その後の対応を確認）を理解できた。
- ・モデル観察とロールプレイの振り返りにより、「言い訳より先に謝罪を伝える」「目を合わせてうなずく」など、具体的な改善点が明確になった。



連携先の企業や事業所等の意見または評価

今後は、施設外就労先等での報告・謝罪場面について、担当者からのフィードバックを収集し、研修内容に反映する予定。

研修参加後、ミスの指摘について、まず謝罪から入ることが多くなってきたと感じる。作業中の報連相についても、端的に結論から伝えられることが増えていていると感じる。

（事業所内研修として実施したため、連携先の企業や事業所等からの意見・評価は該当なし。）

連携先企業（担当者）

愛知県障害者職業センター 担当者：柚木 心平様

利用者からの意見・評価

連携した結果に対する意見または評価

- ・謝る時に言い訳を先に言ってしまう癖に気づいた。まず「すみません」を言う練習になった。
- ・相手の目を見てうなずくと、反省の気持ちが伝わりやすくなった。
- ・怒られるのが怖いほど、早めに報告することが大事だと思った。

今後の連携強化に向けた課題

- ・実際の作業中は緊張してしまうので、スタッフからの声かけや、振り返りの時間を作ってもらいながら練習を続けたい。
- ・施設外就労など実場面で、できた点・難しかった点を共有し、次の目標設定につなげたい。